

## 特集

# 創立40周年記念号の発行にあたって

1980年代前半、第2次臨調行革、教育臨調が推し進められる中で、非行の嵐が新潟でも吹き荒れていました。この状況を何とかしなければとの多くの方々の声を集め1984年12月2日「にいがた県民教育研究所」が設立されました。

以降、40年に渡り「にいがた県民教育研究所」は活動を継続し、「にいがたの教育情報」を発行してきました。

141号は、40周年記念号として、

・八木三男さん、木村隆利さんなどいろいろな方々の思い出

・「にいがた県民教育研究所」や「にいがたの教育情報」とご自身の関わり

・会員の皆さんの近況など

会員の皆さんから原稿を募り、発行することを企画しました。

小林朗さんからは、研究所が一貫して問題視してきた「新潟県の学閥」の現状について論ずる原稿が届き

ました。

自身の教育実践や教員としての生き方に研究所の活動や「にいがたの教育情報」誌が大きく関わっていたことを多くの方から記していたいただきました。また、新潟県の教育における問題を批判的に分析することを積み重ねてこられたことに賛辞が寄せられました。

あらためて、新潟県の教育界で、研究所の活動は貴重でかけがえないものであることを痛感します。

今、研究所は会員の高齢化とそれに伴う会員の減少により、以前と同様の活動を継続することが困難な状況にあります。一方で、情報通信技術の発達により新たな活動を始動できるチャンスが生まれています。

多くの会員の方々で支えられてきた「にいがた県民教育研究所」、これからも会員の皆さんに支えていただきながら、活動をしていきます。今後ともよろしくお願います。

(にいがた県民教育研究所 所員一同)